

伝染性のあくびから見る肢体不自由児の社会性について

学籍番号 249508

氏 名 中嶋駿

主指導教員 大内田裕

副指導教員 早野真美

1. 背景

1.1 肢体不自由教育における社会性の重要性と課題

ヒトは、一人で生きることとはできず、集団で生きることが、自然界の中で生き残る方略として取られてきた。社会性は、他者の意図や感情を推測し、協調的・共感的な行動を行い、他者と共に生きていくために必要な能力である。この能力は肢体不自由児においても重要な能力である。肢体不自由児の多くは、他者の支援を受けながら生活するため、支援者に注意を向け、意図を理解し、自身の意思を何らかの形で伝達する必要がある。しかし、肢体不自由児は、一般的な社会的行動がその障害特性により外在化されにくい。また、既存の社会性評価指標は運動や言語能力に依存する項目が多く、肢体不自由児に適応が困難であることが多い。

1.2 伝染性のあくびを社会性の指標とする可能性

伝染性のあくびは、共感性や社会的関係の影響を受けていることから、社会性を反映していることが示唆されている。この現象は、他者のあくびを見たり聞いたり、あくびについて想起することによって誘発される。また、社会的親密度の高い相手ほど伝染性のあくびが生じやすい。この現象は、固定的動作パターンや無意識的模倣反応などとの関連が示唆されており、意識的な模倣活動や反射的反応とは区別されることが指摘されている。以上の知見を踏まえると、伝染性のあくびは①運動・言語能力に依存しない行動指標であること、②非侵襲的に測定可能であること、③意識的な模倣機能に依存しないことという特徴を有しており、肢体不自由児においても観察ができる可能性がある。

2. 目的

本研究は、肢体不自由児において伝染性のあくびという行動指標を観察することが可能であるかを検討することを目的とする。あわせて、肢体不自由児においては、視覚情報の受容や視線定位が困難な場合が少なくないことから、視覚的提示方法を2条件に設定し、提示条件の差異が観察成立に及ぼす影響を検討する。本研究は、将来的に伝染性のあくびを社会性評価の一指標として活用する可能性を探るための、基礎的・予備的検討として位置づけられる。

3. 方法

本実践Ⅰでは、肢体不自由特別支援学校の児童生徒／教職員を対象に、知人／未知×あくび／口開けの4条件からなる動画刺激を提示し、伝染性のあくびの発現を比較した。各条件は6名分の動作（2分）＋休憩（1分）を1ブロック（計3分）とし計12分実施した。動画刺激のモデルに知人は校内教職員、未知は校外成人を用い、口開けは統制刺激とした。

また視覚動画の見えがあくびの生起にどのような影響を与えるかを調べることを目的に、本実践Ⅱでは、肢体不自由児1名を対象に、PC（13インチ）と大型ディスプレイ（98インチ）の2条件で動画刺激を提示し、伝染性のあくびの生起を検討した。

4. 結果

実践Ⅰでは、教職員群に一定のあくびの生起が見られたが、児童生徒群においては限定的であった（図1）。時系列分析では、あくび刺激提示中よりも直後の休憩中にあくび回数が増加することがわかった。一方、推測統計においては「親近性（知人/未知）」および「刺激種（あくび/口開け）」の主効果に統計的有意差はなかった。

実践Ⅱでは、PC画面ではあくび反応は認められなかった一方、大型ディスプレイでは複数回の実践であくびが観察され、合計5回生起した。提示条件別の偏りは明確ではなかった。

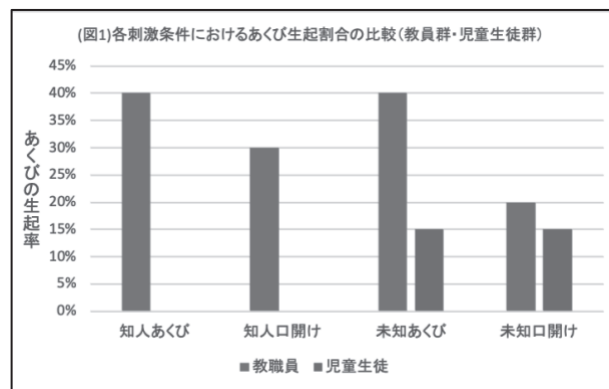


図1 条件におけるあくび生起割合の比較

5. 考察

教職員群におけるあくび生起率から、動画刺激自体に一定のあくびを誘発する可能性を有していた一方、統計的には刺激種（あくび条件／口開け条件）ならびに親近性（知人／未知）の間に有意な差は認められなかった。これは、あくび特有の要素と単なる開口動作との違いが、明確ではなかったことに起因する可能性や、参加者にとって動画内における知人／未知との社会的親密度に差がなかったことが考えられる。また、休憩中にあくびが増加したことは、あくび生起に一定時間の遅延が生じている可能性と参加者が画面に集中しなければいけないという社会的制約が外れたことが起因していることが示唆される。

児童生徒群においてあくびの生起があまり見られなかったことについては、刺激への注意持続の困難さ、顔・表情認知の困難さ、発達段階の未成熟などの原因が考えられる。一方、実践Ⅱにおいて提示環境があくびの生起率に影響を与えたことは、普段内在化されている肢体不自由児の社会性が環境調整によって引き出すことができる可能性を示唆している。

今後は、動画内の知人と参加者との関係性をより厳密に統制することや、刺激動画の強度（音声や持続時間など）を改善した上での追試が求められる。